

できるかな？

保護者の皆様には、休業期間中、子供たちが「知る楽しさ」「学ぶ楽しさ」を味わい、学習習慣の維持、学習意欲の向上のために、ご協力いただきたいと思います。

5月28日

今日は、5分間で何文字書けるかにチャレンジ（ばーと2）です。教科書の文章を見て書き写します。見て書き写すことを視写（ししゃ）と言います。ひらがなはひらがなで、漢字は漢字で書きます。

「、」や「。」があれば「、」や「。」を打ちます。書いてあるとおりに書き写します。

5分たったらとちゅうでも書くのをやめて何文字書くことができたか数えて「◇月△日 5分間で〇〇文字」と書きましょう。そして、前回の時と比（くら）べてみましょう。

例えば（たとえば）「〇文字多く書くことができた。」「前よりも△文字少なくなった。けれども、ていねいに書くことができた。」「言葉のまとまりを意識（いしき）してかくことができた。」など

はやく書くコツをもう一度、紹介（しょうかい）します。

見て（読んで）言葉のまとまりを覚（おぼ）え、ノートに書く。また、言葉のまとまりを覚えノートに書く。

「、」や「。」のところまで覚えることができるのもっとはやくなるかもしれません。もう一つ、できるまで、くりかえしチャレンジすることです。

教科書からチャレンジする文章を見つけ取り組みましょう。見つかることのできない場合は、前回視写（ししゃ）した教科書のお話の文章（ぶんしょう）にチャレンジ。5分間集中してチャレンジしてみましょう。

1年生は、ひらがな カタカナの50音をていねいに書くこともこれからの力になります。

さあ、チャレンジしましょう。

5月29日

休業期間中の家庭での学習のご協力ありがとうございました。東京都の緊急事態宣言の先日解除され6月1日よりしばらくの間は分散での登校になりますが、学校が再開されることになりました。

さて住んでいる所の名前、区や都道府県の名前、かけ算九九、音読や視写などにチャレンジしてきました。

今日は、ひらがなカタカナの50音に似（に）ていますが、「いろはうた」にチャレンジしましょう。「ゐ」（い）、「ゑ」（え）、「けふ」（きょう）など、「伝統的かなづかい」もあります。歴史的かなとも言います。

「いろはうた」 かなをそのまま読んでいくと（カタカナで表します）

いろはにほへと（イロハニホヘト） ちりぬるを（チリヌルヲ）

わかよたれそ（ワカヨタレソ） つねならむ（ツネナラム）

うゐのおくやま（ウイノオクヤマ） けふこえて（ケフコエテ）

あさきゆめみし（アサキユメミシ） ゑひもせす（エヒモセス）

50音の「い」がはじめに出てきて、「あ」が終わりの方に出てくる。面白いですね。

【豆知識】

今、音楽の時間に使っている「ドレミファソラシド」の階名（かいめい）はイタリア語ですが、昔日本では、いろはうたの順番（じゅんばん）を使って、「ハニホヘトイロハ」と言っていました。

「み」みたいな「ゐ」（イ）や「る」みたいな「ゑ」（え）があり、むずかしいのですが、

さあ、チャレンジしましょう。年を表すだけでなく、時間や方角もこれらの言葉を使っていました。

声に出して、リズムで覚えてしまいましょう。